

また、会えたね!



©2022 Hayao Miyazaki-Toshio Suzuki

鈴木敏夫とジブリ展

2024 3/20 (水祝) ▶ 6/18 (火)

横須賀美術館

YOKOSUKA MUSEUM OF ART

本展覧会は事前予約制(日時指定)です。ローソン・ミニストップ店舗 Loppiまたはローチケでご予約・発券の上、ご来場ください。[Lコードは裏面]

休館日: 4/1(月)、5/13(月)、6/3(月)

開催時間: 10:00~18:00(入館は17:30まで)

※ただし4/27(土)~5/6(月休)は10:00~20:00(入館は19:30まで)

主催:「鈴木敏夫とジブリ展」神奈川展開催委員会(トライアングル、横須賀市、ローソンエンタテインメント、神奈川県、横須賀市観光協会)

特別協賛: おもしろいほうの未来へ **au** 神奈川展特別協賛: 京急電鉄、京浜急行バス 特別協力: スタジオジブリ、日本テレビ

企画協力: ムービック・プロモートサービス、博報堂DYメディアパートナーズ 展示協力: ア・ファクトリー

協賛: ジェイコム湘南・神奈川、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)

後援: 横須賀商工会議所、横浜銀行、かながわ信用金庫、湘南信用金庫、神奈川県観光協会、JTB横須賀支店

全国7か所を巡ってきた

あのジブリ展が

いよいよ

神奈川で開催!



貴重な資料や企画書、
立体造作物を含むフォトスポット。
さらに本展のために制作された
展覧会オリジナルグッズが多数登場!

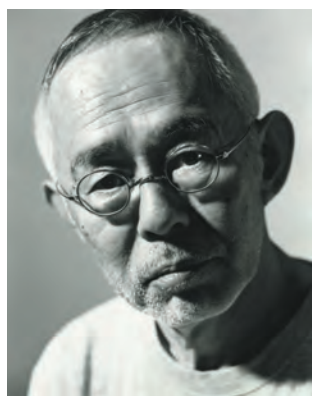
ここにくれば、
ジブリがもう一度
見たくなる



《映画をつくる人間も、最初は観客だった》

高畑勲・宮崎駿両監督と共に、世界を代表する数々のアニメーション映画を世に送り出してきたスタジオジブリ・プロデューサー鈴木敏夫。

本展では、戦後の名古屋で育ち昭和、平成、令和の時代を駆け続けている鈴木敏夫が出会った多くの映画作品、書籍と、それを通して見えてくる時代背景に注目しました。鈴木が幼少期と激動の時代に「体験」した数多くの映画作品をぎっしり集めた空間も!



撮影:荒木経惟



鈴木敏夫 (すずき・としお)1948年、愛知県名古屋市生まれ。スタジオジブリ・プロデューサー。慶応義塾大学文学部卒業後、徳間書店入社。「アニメージュ」の創刊に参加し、副編集長、編集長を務めるかたわら、高畑勲・宮崎駿作品の製作に関わる。1985年にスタジオジブリの設立に参加、1989年からスタジオジブリ専従。以後ほぼすべての劇場作品をプロデュースする。



©Toshio Suzuki ©Studio Ghibli

トトロ
湯婆婆
銭婆
も
今
一
を
見
て
ま
う
一
度
見
た
く
な
る

本展覧会は事前予約制(日時指定)です。
3月Lコード 30171 4月Lコード 30172 5月Lコード 30173 6月Lコード 30174
ローソン・ミニストップ店頭Loppiまたは
ローチケでご予約・発券の上、ご来場ください。

2024年 3/20(水祝) ▶ 6/18(火)
開催時間: 10:00 ~ 18:00 (入館は17:30まで)
※ただし4/27(土)~5/6(月休)は10:00~20:00(入館は19:30まで)

観覧料 一般: 2,000円税別 ※中学生以下、横須賀市内在住・
在学の高校生は無料

※団体割引はございません。
※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健手帳をお持ちの方と添付の方1名様は無料です。
※無料の方も、事前予約が必要です。その際、各種手数料がかかります。
※「鈴木敏夫とジブリ展」の観覧券で、谷内六郎館もご覧いただけます。(ただし18時まで)
※他の企画展は、別途観覧券が必要です。

問い合わせ先 横須賀市コールセンター 046-822-4000 (月~金曜日8:00~18:00、土日・祝休日は~16:00)

横須賀美術館

YOKOSUKA MUSEUM OF ART

〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居4-1 TEL 046-845-1211
<https://www.yokosuka-moa.jp/>

- 交通案内
 - ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。
 - 京急線馬堀海岸駅1番乗り場から京急バス観音崎行き(須24、馬24)で約10分、「ラピスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」下車、徒歩約2分。
 - 京急線浦賀駅1番乗り場から京急バス観音崎行き(浦3)で約15分、終点「観音崎」下車、徒歩約5分。
 - JR横須賀駅3番乗り場から京急バス観音崎行き(須24)で約35分、「ラピスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」下車、徒歩約2分。

